

三重大学医学部医学科案内

MIE UNIVERSITY FACULTY OF MEDICINE



三重大学医学部附属病院

Mie University Hospital

三重大学医学部の歴史は、昭和19年に津市立病院を母体として設立された三重県立医学専門学校から始まります。その後、三重県立医科大学、さらに国立三重大学医学部へと移管されました。そして、平成24年1月新しい附属病院の運用が始まりました。新病院は、21世紀の新しい医学・医療を担う病院として、また、これまで通り三重県における最高の医療を提供する病院として、さらに、三重県内唯一の医療・医学研究を担う人材を養成する医育機関として、最先端の設備と優秀な臨床医・指導医を擁しています。



地域と連携した地域基盤型保健医療教育

Community-based Health Profession Education

三重県における唯一の医師養成機関として三重県の地域医療の維持・向上に取り組んでいます。本学における教育統括組織である医学・看護学教育センターが中心になって、県、市町、地域病院、地域コミュニティと協力して、さまざまな特色ある地域基盤型保健医療教育を実践しています。



海外からの交換学生受入れ

International Medical Students

医学部第4学年の後期から第6学年の前期までは臨床実習(クリニカルクラークシップ)の期間になります。附属病院や地域の病院で指導医・研修医とともに医療チームの一員として診療に参加します。本学の臨床実習には、海外協定校からの医学部学生・研修医・医師が参加することもあります。これらの外国人医学生・医師とともに学ぶ機会が多いことも三重大学医学部での教育の特色です。三重大学には、実習や課外活動で英語コミュニケーション力や専門医学英語力を試すたくさんの機会があります。外国からの学生達が日本の文化や生活に慣れ親しめるようサポートを行う学生グループの活動も活発で、将来それぞれの国で医師となる学生同士が深い友情と相互理解を深めることが出来ます。



グローバル化教育

Global Education

→ 重大学医学部が実施する医学部学生の海外実習
→ は、全国の大学で最も規模が大きく、世界の各地域での実習に参加できるという特色があります。第14学年次には早期海外体験実習（1-2週間の見学実習）、第4-5学年次には海外リサーチ・インターンシップ（米国の研究機関での3-4週間の研究体験）に参加することができ、最終学年の第6学年次には、海外臨床実習（4-8週間の海外医療機関での診療参加型臨床実習）に参加できます。

海外臨床実習は、第6学年の約半数（60名程度）が参加する大規模な実習であり、米国・欧州などの先進国だけでなく、アジア太平洋・アフリカ・南米の国々での実習を体験できます。このような国際的な活動に併せて、学内での語学教育、国際保健医療教育を強化し、グローバルに通用する能力と国際感覚を持って、地域保健医療に貢献する医師の養成を目指しています。



シミュレーション教育

Simulation-based Medical Education

パイロットや宇宙飛行士を養成するために本物の飛行機やロケットに搭乗する前に実物そっくりのシミュレーターで訓練するのがテレビなどで見たことがありますか？ある患者さんが受ける医療処置が、どんな医師にとっても実は初めての経験ということがありえます。時には命の危険を伴うような処置をぶっつけ本番で患者さんに行っていた時代がありました。最近ではパイロット教育のフライトシミュレーターのように高度な医学技術をシミュレーターという訓練機器を用いて十分習熟したのちに患者さんに行うように医療教育も変化してきました。医学部附属病院の外来棟5階にそのスキルズラボ（クリニカルシミュレーションセンター）があります。三重大学のスキルズラボは決して広い方ではありませんが、心臓や呼吸の音を発生させて診断練習する基本的なトレーナーから分娩、血管内手術、内視鏡検査、腹腔鏡手術を安全に行えるようバーチャルリアリティを駆使した最新のシミュレーターまで、訓練用機器の整備は全国有数と自負しています。特に災害や事故の際に要求されるチーム医療能力を訓練するためのヒト型の高機能シミュレーター（SimMan3G:

心電図、心音、呼吸音、神経所見、チアノーゼ、発汗、痙攣、出血、発語などあらゆる病的状態をコンピューターの遠隔操作で再現し、適切な蘇生処置や薬物投与に反応して状態を変化させることのできるマネキン。米軍、自衛隊、レスキュー隊などの医療訓練でも使用）は5台を有し、高校生の入学前教育から医師に至るまで幅広く利用されています。当院の研修医は24時間、本学の医学科・看護学科学生も午前9時から午後5時まで教員と一緒に自由に利用できます。是非一度遊びに来てください。（<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/mie-ccc/skillslab/>）

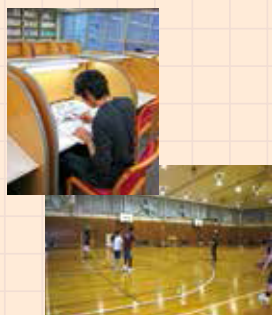


1 共通教育

Liberal Arts (1 年前期～2 年前期)

医師には高度な専門性だけでなく、多様な観点をもつ幅広い教養や豊かな人間性も求められます。教養教育では、総合大学に相応しく、医・人文・教育・工・生物資源学部の教員が開講する様々な分野の講義を受講することができます。他学部の学生と

ともに学ぶ通常の講義に加え、アクティブ・ラーニング形式の授業も数多く開講されています。アクティブ・ラーニングで培われる自律的・能動的学修力やコミュニケーション力は今後の学びの姿勢の基盤となります。



3 基礎医学教育

Basic Science (2 年前期～3 年前期)

分子・細胞・組織・器官・個体・社会など、様々なレベルで生命現象を理解することが医学の基礎になります。「分子生命体科学」では分子細胞生物学を、「生体の構造と機能」では解剖学・生理学・病理学・生化学を、「生体防御の分子基盤」では薬理学・免疫学・微生物学を、「社

会と医学」では法医学・衛生学・公衆衛生学を学びます。講義に加え、実習・演習も行われます。御献体を用いた「系統解剖実習」では、これまでに学んだ知識を統合して、「人のからだ」を理解します。「系統解剖実習」は、医師としての倫理観・死生観を考える場でもあります。



実践力と人間性を高めるカリキュラム

2 初期医学教育

Early Exposure to Medicine (1 年前期～2 年後期)

初期医学教育では、医学部学生に求められる態度や学習の方法を身に付け、医学部専門教育を受けるために必要な基礎知識を学習します。「医療と社会」実習では、入学後早期から大学病院、地域の医療施設での体験型実習を行います。また、地域基盤型保健医療実習では、地域コミュニティでの地域調査とヘルスプロモーション活動を実践し、地域社会の保健医療の課題を理解します。



医学英語の授業では、外国人教員による医学英会話クラス、ネット教材を用いた授業が行われており、医学の学習に必要な専門英語力を修得します。「医学医療入門」等の授業では、医学医療の今日的課題を理解し、日々進歩する先進医療や医学研究への理解を深めます。

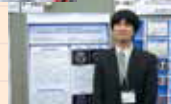


4 研究室研修

Research Work (3 年後期～4 年前期)

医学・医療の進歩を支えるのは、一部の医学研究者ではなく、多くの医療・医学に関わる人達です。「研究室研修」では約1年間、学生全員が研究体験をすることで、医学・生命科学研究への関心を高め、科学的な観察力、洞察力、批判的考察力などを身に付けることを目指します。研究の成果を国内外の学会や論文で発表することもできます。

医学研究に興味のある学生は、「研究室研修」以外にも6年間通して研究活動に参加する「新医学専攻コース」に参加することができます。同コースでは、教員の指導の下、新しい知識や実験手技を学び、研究を通じた人類への貢献の喜びを感じることで、医学研究者として第一歩を踏み出します。



5 問題基盤型 (PBL) チュートリアル教育

Problem-based Learning - Tutorial Education (3年後期～4年後期)

第3学年の9月から第4学年の12月までの1年4ヶ月間は、学生の自主学習と小人数のグループ学習による問題基盤型学習であるチュートリアル教育が実施されます。本教育は、自ら学習して知識を得る力を養成する教育です。本教育では、医師および医学研究者に求められる学習能力、問題解決能力、科学的思考能力および討論・コミュニケーション能力を修得します。



学生は事前に配布された課題症例を使用して自主学習を行い、協同学習を行うチュータータイムに備えます。課題症例は実際の患者診療をもとに、学習教材として再構成された三重大学オリジナルのもので、実際の患者に対する医師と同様に、課題症例に存在する問題点を発見し、解決するための情報収集と推論を議論しながら進めていきます。その学習過程で、基礎医学から臨床医学におよぶ幅広い知識を総合的に修得していきます。



7 共用試験

Common Achievement Tests (4年後期)

PBLチュートリアル教育で学んだ知識は、共用試験実施機構（全国80大学医学部により組織された試験統括機関）によるコンピュータ支援学力試験（Computer-based test, CBT）で評価されます。



基本的臨床技能教育で学んだ臨床技能は、共用試験実施評価機構による客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination, OSCE）で評価されます。病院・診療所での臨床実習に参加するためには、共用試験 CBT / OSCE に合格しなければなりません。



2

3

4

5

6 基本的臨床技能教育

Training for Basic Clinical Skill (4年前期・後期)

第4学年では、患者とのコミュニケーション、病歴聴取、診察、臨床推論、基本的検査・治療手技、診療録記載に必要な基本的臨床技能を学びます。トレーニングを受けた模擬患者が参加する医療面接実習、多くのシミュレータが設置されたスキルプラボ（臨床技能実習室）を活用した身体診察、



基本的検査治療手技実習が行われます。



8 臨床実習

Clinical Clerkship (4年後期～5年後期)

第4学年1月から第5学年3月までの期間、本学医学部附属病院と地域の関係教育病院・診療所において、全診療領域でのローテーション型臨床実習に参加します。従来の見学型臨床実習から脱却した診療参加型臨床実習であるクリニカルクラークシップ方式を、本学では他大学に先駆けて導入しています。医療チームの一員として診療に参加することで使命感を育み、患者と病気を理解しながら、実地診療を学んでいきます。医師としての責任感を自覚し、患者の立

場に立った医療実践を学ぶことを目的としており、指導医の監督の下で一定レベルの医療行為や診療業務に参加します。第5学年終了時には、臨床技能と知識の再評価を行い、成績優秀者を「臨床技能優秀学生」に認定しています。



9 選択型臨床実習

Electives (6 年前期)

第6 学年臨床実習では、本学医学部附属病院専門診療科、地域の医療機関、海外交流大学の教育病院での4ヶ月の臨床実習を行います。本実習では、卒業後のキャリアパスを考えて、希望する病院、診療科を選択することができます。そのなかでも本学の海外臨床実習は、一学年の約半数が参加する大規模な活動であること、米国、欧州だけでなく、アジア・アフリカでの実習機会があるという特徴があります。海外臨床実習では、臨

床技能や語学だけでなく、日本とは異なる医療制度や医療文化を経験することで、幅広い視野で日本の医療に貢献する力を修得します。



11 三重大学医学部附属病院臨床研修プログラム

Residency Program at Mie University Hospital

医学部を卒業し、医師国家試験に合格すれば、プライマリ・ケアを中心とする幅広い診療能力の習得を目的とした2年間の初期臨床研修に進みます。三重大学医学部附属病院では、大学病院と県内外の研修協力病院との連携の下に、以下のような充実したプログラムを提供しています。

- 1 研修医が目標達成に向けて自由に選択できるプログラム
- 2 初期研修と専攻医修練が効率的に繋がるプログラム
- 3 各診療科の指導医の下できめ細かな指導を受けられるプログラム
- 4 ローテーション診療科の特性に沿ったクリニカル・スキル

を身に付けることができるプログラム

5 将来の専攻希望に応じて検査・治療手技を学べるプログラム

6 メンター（ロールモデル兼アドバイザー）が目標達成までサポートするプログラム

平成23年6月より臨床研修キャリア支援センターが、病院に勤務するすべての医療職の国内・海外留学支援、専門医資格取得支援、女性支援、復職支援などを行っています。



(年)

6

地域社会と国際社会に貢献する医師を目指して

10 医師国家試験

National Examination for Medical Practitioners

6 年間の医学教育カリキュラムで学んだ成果は、第6学年後期に行われる卒業試験で評価されます。卒業試験に合格し、卒業認定を受けた学生が国家試験を受験することができます。医師国家試験は、医師になるための資格試験です。医師国家試験は、毎年2月に実施され、試験期間が3日間、試験問題は医学の全領域から500問が出題される試験です。合格率の全国平均は、90%前後です。

三重大学医学部医学科
学生は、卒業試験の合格率の高さは学内外から高く評価されています。平成20年から29年までの過去10年間の新規卒業生の合格率は93.2-98.4%で推移しています。

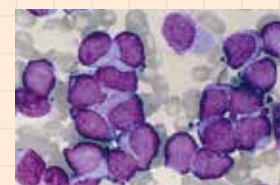
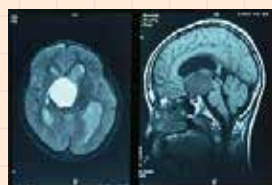


12 大学院医学系研究科

Graduate School of Medicine

三重大学は、大学院大学として、医学研究を推進する大学院医学系研究科を併設しています。医学は、日進月歩の勢いで急速に進歩しており、医療現場では、最先端の知識と技能が求められます。本学大学院医学系研究科は、世界に通用する最先端の研究を行う部門です。

大学院には、修士課程（2年制）と博士課程（4年制）がありますが、医学部医学科は、6年制ですので、医学部卒業後、修士課程を経ずに博士課程に進学することができます。同研究科には、志願者の希望に添う多くの研究分野が設置されています。



詳しくは、<https://www.medic.mie-u.ac.jp/grad/index.php> をご覧ください。

在校生からのメッセージ

み さん、こんにちは!三重大学6年の宿院です。三重大学に入学してからあつという間に6年が経ちました。早速ですが三重大学の紹介をしたいと思います!

三重大学には医学部特有のサークルが充実しており、多くの学生は部活やサークルに所属しています。私は"ぞくよん"と"医学部留学生交換サークル"という医学部サークルを選びました。ぞくよんでは小児科に入院中の子供たちと交流する機会や子供たちとキャンプに行く機会もあり、とても貴重な経験ができます。

また臨床実習に関しても、三重大学病院以外の三重県内の病院でも実習させていただく機会があり、多くの病院で医療を体験することができます。どこの病院も先生方は優しくご指導していただき、実習も積極的に行わせていただけます。

私は大学に入学してから ON と OFF の切り替えを心がけ、勉強も遊びも全力で楽しみ充実した大学生活を送っています。大学生活を楽しむ上で、周りの環境はとても大切です。ぜひ三重大学に入学し、素敵な大学生活を送っていただきたいです!!

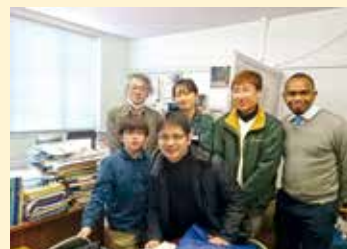


皆 さんは大学に入学したらどのようなことにチャレンジしたいですか?大学生活では実にさまざまな活動に取り組むことができます。私からはその一部を紹介しようと思います。

私は部活で「きゅうめい部」に所属し、県内の中学生や地域住民の方に救命の大切さを伝える活動をしています。伝えるだけではなく、様々な年代の方との出会いにより得られた経験は、医師を目指す大学生活をより全力で取り組むための大きな糧となっています。

また研究室研修では、形成外科にてイモリと再生医療について実験しています。イモリは脚や尻尾、さらには心臓や脳、目の組織まで何度も再生できる高い器官再生能力を持っています。失った機能や形を回復させることで前向きな人生を送れるよう治療に取り組む形成外科では、このイモリの再生能力を応用するために研究を進めています。普段絶対に学ぶことのできない手技を体験し、驚きと発見の連続です。筑波大学での共同研究にも参加させていただきました。

夢に描いていた自分が一歩ずつ現実近づいていくワクワク感を胸に、三重大学で大学生活を私たちと一緒に楽しみましょう。



く さんこんにちは!医学科4年の倉世古海香です。

今は5、6年の臨床実習に向けてチュートリアル教育(実在する患者さんの病状や治療経過を元に作られた架空のシナリオを元に行う課題解決型のグループ実習)を受け、部活にバイトに研究室、仲間との楽しい時間など充実した大学生活を送っています。私は最初医学部で学ぶ知識量は膨大だと聞いていたので、自分がちゃんと勉強をこなせる自信がありませんでした。でも三重大学では仲間同士で勉強して教えあう雰囲気があり、助け合って勉強していくのでとても心強いです。

受験生の皆さんは今、つらいと思うときがあると思います。そんな時は是非家族や友達に自分の夢、大学生になったらやってみたい事などを話してください。きっとやる気がわいてきます。そして一番大切なことは、自分に自信をもって、絶対に合格すると信じていることだと思います。

悔いのないように頑張ってください!皆さんに会えることを楽しみに、応援しています。



三重大学医学部医学科 アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

このような人を育てます

医学部における教育に関する方針は、「医療に求められる使命感、倫理観、臨床判断力・実践力と医学・看護学研究を推進する創造的研究力を培い、人類の健康と福祉に貢献する医療人を育成する」ことです。

医学科では、基礎医学、社会医学、臨床医学の分野で活躍する人材を養成していきます。すなわち、コミュニケーション能力に優れ、幅広い知識と質の高い技術を持って患者中心の医療を実践できる能力、自ら問題を発見し科学的根拠に基づいた思考によって問題を解決できる能力、あるいは地域及び国際社会における健康の増進、疾病の予防に寄与し、人類の保健、繁栄に貢献できる能力を養います。

このような人を求めます

医学科では特に以下の人を求めます。

- 医学の進歩と人類の健康の向上に対して高い関心を持っている。
- 入学後の修学に必要な学習能力と誠実な人間性を備えている。
- 困難に立ち向かう強さと人への優しさを備えている。
- 地域医療への貢献に対する意識を持っている。

MIE UNIVERSITY FACULTY OF MEDICINE



医学部 キャンパスマップ

(問い合わせ先)

三重大学医学部

医学・病院管理部学務課

〒514-8507 津市江戸橋2丁目174

TEL 059-231-5063

FAX 059-231-5090

<https://www.medic.mie-u.ac.jp/med/index.php>